

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良育英小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 630-8558

奈良市法蓮町 1000 番地

E-mail ikuei-e@ikuei.ed.jp

Website https://www.ikuei.ed.jp/ikuei-e/

幼児児童生徒数 男子 51 名 女子 58 名 合計 109 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「自主創造の能力と友愛協同の態度を育てること」を学校理念として、ESD を「奈良から世界へ、いのちと私たち・育む・守る・つなぐ」を目標に、ESD の実践を通して豊かな人間性と社会性の育成を目標とした。

具体的には、環境、異文化、国際協力を柱に①環境に係わる学習と活動、②生物多様性に係る学習、③国際理解に係わる学習と活動、④文化多様性、地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習と活動、⑤食育にかかわる活動、⑥人権・平和に係わる学習を行った。

① 環境に係わる学習と活動

4 年生…「水とくらし」の学習で浄水場に見学、取水している白砂川の調査を行った。その結果に基づき白砂川の指標生物表を作成、研究成果を発表した。また森林の土壌の水の浄化を学習し、春日奥山原始林でフィールドワークを行った。

理科グループ…「里山プロジェクト」の一環として校庭の樹木に巣箱を設置した。

② 生物多様性に係わる学習

- 1年生…身の回りの植物や虫に焦点をあて学習を行った。校内や自宅の周辺でみつけた草花や虫を持ち寄り発表を行った。観察や飼育することで成長や変化すること、そして命の大切さに気づくことができた。
- 2年生…四季を通じて学校横に流れている佐保川に行き、自然が変化していく様子を観察した。
- 4年生…生き物同士の関わりや生きていくための工夫等を推測し、関連付けて考えた。地球には多様な生物が必要であることを学んだ。また身近な校内の樹木を調査も行った。

③ 国際理解に係わる学習

- 6年生…スマイルアフリカプロジェクトに取り組んだ。アフリカの文化や環境について児童自らが学習したことを発表し、他の学年に理解を深めた。その後児童会主催で履き古した靴を集め、アフリカの子ども達へと送る活動を行った。
- 全学年…アメリカにある、エルマリノ小学校とのホームステイ交流を行った。共に日常生活を送り、アメリカと日本の学校での学習の方法、食生活、日常生活の違いに気づく機会となり、その文化を尊重することができた。

④ 文化多様性、地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習と活動

- 1・2年生…学校で育てた藍を収穫。染め物を体験し藍染の良さを体感した。
- 3年生…学校周辺の地形や地域の特色を踏まえる為に奈良県庁の屋上へ見学に行き、その地形から地域の特色の発見、受け継がれてきた伝統・文化を学習し地図作りを行った。
- 5・6年生…明日香周辺の文化遺産を見学し、奈良県の歴史や文化について理解を深めた。

⑤ 食育に係わる学習と活動

- 5年生…日本全国のお雑煮を調べ、味噌の種類の高さに気づいた。実際に「ほう葉味噌」を焼いて食べ、地域によって異なった味噌の使用方法に興味を持ち、地域の食文化に着目することができた。

校内の田んぼで田植えや稲刈りを体験し、収穫したお米を食し、農家の大変さや作って食べる喜びを体感した。

⑥ 人権・平和に係わる学習

- 5・6年生…太平洋戦争で激戦地となった沖縄の戦争にまつわる歴史や地理的な事を知り命や平和の大切さを考えた。
- 6年生…本学園建学の精神「育英誓願」の中にある「世界四聖」の一人「孔子」を取り上げ論語を教材化して学習した。



① の写真（白砂川調査）



④ の写真（藍染め体験）



⑤ の写真（田植え）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

「心をみかくことば 論語」(八木章好 国土社 2013) NHK 番組「あの日、僕らは戦場で」 「森林とわたしたちの生活」 「Dr. フォレストと校庭に出よう」(積水ハウス)
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では「グローバル教育」を推進している。世界に目を向けはばたいていく事ができる児童の育成を目標にしている。そのためにも身近な「奈良」の地域を知ることには焦点をあて、自ら学ぶ姿勢、目的意識を持って学習に取り組む姿勢、人とのふれあいをもちながら学ぶ姿勢を重視している。

学校全体での ESD のテーマを基に低学年・中学年・高学年と一貫した学習が出来るよう一年間の授業内容を職員全員で話し合い ESD カレンダーを作成し、決定している。教科や学年で横断的な学習計画を立てている。学校全体が無理なく授業時間内で収まるよう単元計画を教科ごとに明確にし、授業内容の確認、フィールドワーク等の企画提案、また研究成果の発表の場の提供等、教師間での連携を図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

職員全体で ESD カレンダーを作成し、教科間のつながりを明確にした。各教科の内容をお互いに共有した上で順序良く学習が進められるよう準備を行った。

学校全体の目標から低学年・中学年・高学年が段階を追って学習・活動が行えるよう目標達成に結びつく教材研究を行い、授業に活かした。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ESD の考えに基づいた研究授業を実施し、その授業見学や反省会を行った。

4 年生「奈良市の川の生き物調べ」

成果:科学的な根拠から水質を立証し周辺の環境へ目を向けることができた。

課題:水質改善等、命を守る活動や運動を広める等行動に移す段階まで発展できなかった。

5 年生「修学旅行に向けての平和学習」

成果:戦争の学習を深め戦場の悲惨な現状から平和の尊さを新めて認識し、不断の学びの大切さを実感した。

課題:戦争について学んでいきたいという考えを子ども達が持って修学旅行に望んでくれることを願っている。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

奈良育英小学校のホームページ NEWS&TOPICS 一覧では、活動内容の項目に ESD と掲載し、学内での活動を紹介している。

奈良市の白砂川で調査した「生き物表」を作成し、4 年生学級の掲示板に掲示した。

低学年集会・高学年集会において ESD で取り組んだ内容や成果を発表し、学校全体で共有した。

以上のような事を発信することで、日々の学校生活での活動における積極性や多様性を感じるようになった。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成 (地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など) (200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ・履き古した靴を集め、アフリカの子供たちへ靴を送る活動「スマイルアフリカプロジェクト」に取り組んでいる。
- ・アフリカの文化や環境について児童自ら学習した。また発表を行うことで他の学年の児童にも理解を深めた。
- ・一般財団法人奈良の鹿愛護会主催「奈良のシカ」保護啓発ポスターコンクールの参加を呼びかけた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成 (200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクール加盟校か分からないがアメリカのエルマリノ小学校と交流した。日本と他国の文化・習慣の違いに気づき、日本文化を大切にするとともに、他国の文化も尊重できる態度を育成できるよう取り組んでいる。また修学旅行では沖縄の三育小学校との交流を行い、環境や文化の異なり等を見聞してお互いに親睦を深めた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

学校全体で取り組んだことによって ESD の理念に基づいて授業を組み立て展開できるようになった。また小学校 6 年間で学ばせたい内容が学校として一貫性を持ち、教育内容を構築することができた。

教師間の連携により、授業内容を今までより共有することができるようになってきた。

協働学習を取り入れることで、コミュニケーションを取りながら他者と協力しお互いを尊重する力が身についてきている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

引き続き本校では「グローバル教育～奈良から世界へ」をテーマに奈良の地域社会に貢献し、世界に羽ばたいていくことができる児童の育成を目標とする。

また、座学だけでなく体験を中心とした学習を推進し、身近な事に関心を持ち調べ学習をする中で、自ら問題解決へ導いていける授業計画を立てる。

「環境教育」、「異文化理解」、「国際協力」に加え、物の見方や考えを広げ、コミュニケーション能力を高めるために、2018 年度は「笑いを通した学び」を教育活動の取り組みとして導入していく。